

製品名: PLD2 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81685**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	106kDa

抗原情報

遺伝子名	PLD2
別名	PLD2
遺伝子 ID	5338.0
SwissProt ID	O14939
免疫原	大腸菌で発現したヒト PLD2 (AA: 834-933) の精製された組み換え断片。

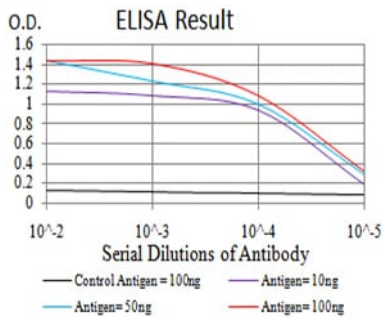
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ホスファチジルコリンをホスファチジン酸とコリンに加水分解する反応を触媒する。この酵素の活性は、ホスファチジイノシトール 4,5-ビスリン酸および ADP-リボシル化因子-1 によって増強される。このタン

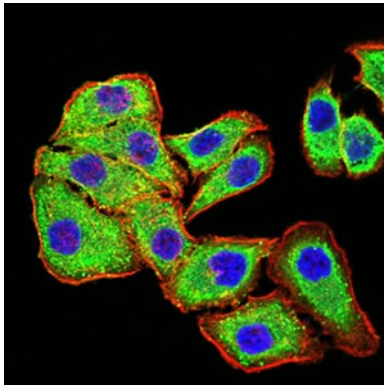
パク質は細胞膜の表層に局在し、細胞骨格の形成、細胞周期制御、転写調節、および / または分泌調節に関与している可能性がある。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする2つの転写バリエーションが見出されている。

研究分野

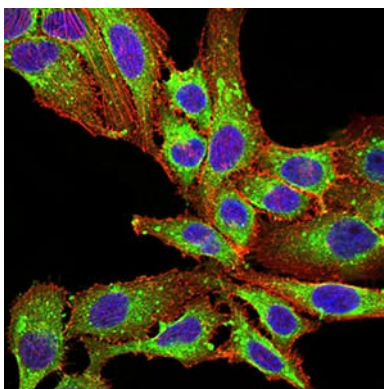
画像データ



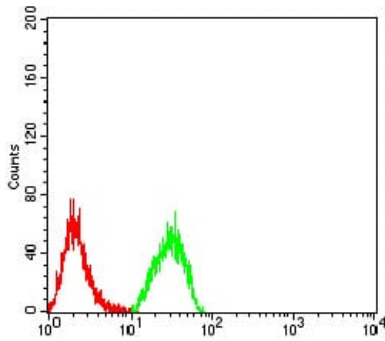
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



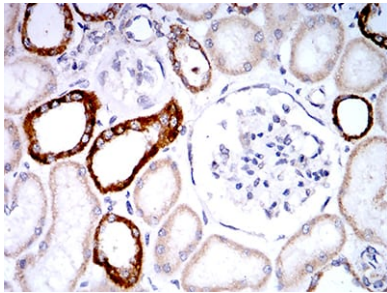
PLD2 マウス mAb (緑) を用いた MCF-7 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



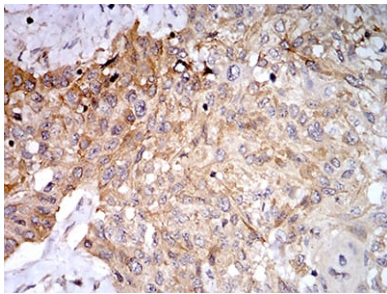
PLD2 マウス mAb (緑) を用いた SK-OV-3 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



PLD2 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



PLD2 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト腎臓組織の免疫組織化学分析。



PLD2 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト食道癌組織の免疫組織化学分析。